

万田坑シャトルバス等運行実績

※11月3日「万田坑ウェルカムフェスタ2015」において運行したシャトルバスは含まれていない。

参考資料③

	5月(7日間)	6月	7月(9日間)	8月(10日間)	9月(11日間)	10月(11日間)	11月(9日間)	12月(9日間)
運行形態	シャトルバス 競馬場跡～万田坑	—	シャトルタクシー 荒尾駅～万田坑		巡回バス(大牟田市共同運行) 荒尾駅～万田坑～三池港～大牟田駅～石炭産業科学館～宮原坑		シャトルバス 荒尾駅～万田坑～宮原坑	
対象区間	競馬場跡～万田坑	—	荒尾駅～万田坑		荒尾駅～万田坑		荒尾駅～万田坑	
利用者数(行き)	169人	/	145人		248人		41人	
利用者数(帰り)	204人		185人		↑荒尾駅乗車数		48人	
利用者数(1便当たり)	1.78人		0.62人		1.41人		0.62人	
入坑者数	3,974人		10,257人		18,332人		10,409人	
公共交通利用率	4.3%		1.4%		1.4%		0.4%	
行事など	4日 5日 勧告報道 無料開放日		8日 登録決定				3日 2万田坑 0エエ田 1スル坑 5タカム	

【考察】

- ・5月に運行したシャトルバスは、マイカーで来訪された方を対象としているため、公共交通に関するニーズは読み取れない。
- ・7月～8月に運行したシャトルタクシー及び11月～12月に運行したシャトルバスは、荒尾駅を発着地としていたが、利用が少なかった。熊本市方面から電車で来られる方が増えれば利用が伸びる可能性があるため、戦略的なPRを行う必要がある。
- ・9月～10月に運行した巡回バスは、大牟田市の資産を含め周遊性が高かったため、利用者も多かった。今後、巡回モデルコースを提案する。